

## 【人権総合】～「人権」を法律的、社会的、構造的に学ぶ～

「人権」とは「思いやり」や「優しさ」ではなく、誰もが生まれながらに持っている、「人として認められ、自由で、豊かな、幸福な人生を送るために保障されなければならない一連の権利の総称」です。法律、社会、構造など、さまざまな視点から学び、話し合いながら考えていきます。

### 人権総合①(総論) 8月28日(木) 10:00～12:30

#### 「国際人権法と日本の人権状況」／李嘉永(近畿大学人権問題研究所准教授)

講座初日の講義。とっつきにくいと思われがちな国際人権法を専門とする講師から「人権」の基礎を学びます。日本国憲法上の基本的人権、それに関わる国際人権法上の枠組みを理解し、日本の人権状況が国際人権法の機能によってどう変わってきたのかについても学びます。

🗨️「大きな問題を細分化し、わかりやすく説明していただき、楽しく学ぶことができました」  
昨年の講座参加者〔企業関係者〕

### 人権総合②(現代的レイシズム) 9月11日(木) 13:30～16:00

#### 「日本の人種・民族問題―「新しいレイシズム」に着目して」／

高 史明(東洋大学 社会学部 教授)

「現代的レイシズム」―耳慣れない言葉かもしれませんが、「在日コリアンは日本人より劣っている」といった古くからあるレイシズムに対し、「不当な特権を得ている」などとする新しいレイシズムを指します。講師は、偏見・ステレオタイプ・差別を主に研究する社会心理学者で、『レイシズムを解剖する：在日コリアンへの偏見とインターネット』の著者。7月の参院選でも「外国人は優遇されている」というデマと差別が飛び交いました。そんな今だからこそ、講師とともにその実態を知り、どのように対抗すればいいのかを考えていきましょう。



### 人権総合④(マイクロアグレッション) 12月18日(木) 13:30～16:00

#### 「社会のあり方とマイクロアグレッション」／

栗本 敦子 (Facilitator's LABO <えふらぼ>)

マイクロアグレッションとは、「差別する意図はないが、言葉の中に異なる文化を持つ人などに対する無理解、偏見、差別が含まれる「見えにくい」攻撃」。「個人の意識の問題」だけでなく、マジョリティ中心の「組織・社会のあり方」として考える必要があると栗本さんは話します。ワークショップで五感を働かせ、日々感じるモヤモヤなども話し合いながら、一緒に気づきを得ていきましょう。

近著『これからの社会を生きていくための人権リテラシー：高専発！書く・話す・考えるワークブック』

